

令和元年台風第 19 号を踏まえた
今後の治水対策の在り方検討会
設立趣意書

令和 2 年 2 月 12 日

令和元年台風第 19 号では、平成 27 年関東・東北豪雨からわずか 4 年で、それを上回る観測史上最大の降水量を記録し、県内の広い範囲において甚大な被害が発生した。

気象変動の影響による豪雨災害の頻発化・激甚化に対応するためには、ハード・ソフトが一体となった治水対策の更なる強化が必要である。

このことから、近年の降雨状況や今回の被災状況等を踏まえ、洪水被害の防止・軽減に向けた、本県としての治水対策の在り方を検討するため、有識者、学識経験者より意見を聴く場として検討会を設置するもの。